



大和中だより

校訓 「協和・自立」

大和中生のキャッチフレーズ:「笑顔 あいさつ 学び合い」

第15号

大和町立大和中学校

平成31年3月22日

平成30年度修了式

平成30年度も本日で修了式を迎えました。校長式辞の後で、1・2学年の代表と生徒会代表が1年間の反省と来年度へ向けての抱負を力強く述べました。

修了式式辞は以下のとおりです。



今、学級代表の皆さんに修了証書を手渡しました。その修了証書は、通知表にもなっています。思春期を生きる皆さんは、この一年で、大いなる成長を遂げています。学習や行事、部活動などの活動から学びを深めたり、社会性や協調性を高めたりと人間性を養い、大いなる成長を遂げています。通信票に記された成果を抛り所に、更なる成長を期待しています。

ところで皆さんは、四月からは、二年生、三年生になります。学年が一つ進むことにな

りますが、一つ上の学年に進むことの重みを分かってほしいと思います。

これまで、皆さんは、三年生や二年生の先輩を心の中で頼りにしながら活動していたことと思います。また、「先輩の存在」を先輩がいるから安心して活動できる、先輩が指示してくれるから行動できると捉えながら生活してきたことと思います。

しかし、四月からは上級生・最上級生となり、模範を示したり、後輩を導いたりしていかなくてはなりません。「頼る」から「頼られる」立場に比重が大きく変わります。特に、四月から最上級生となる現二年生は、大和中学校のリーダーとして、後輩や先生方から求められるものも大きくなります。

後輩に対して「あいさつはしっかりすること」「素早く行動すること」「服装は整えること」と言っておきながら、言っている本人ができていないとしたらどうなるのでしょうか。決して望ましい先輩としての姿ではないし、後には、距離を置かれるようになったりするのも自然の流れです。そんな上級生や最上級生にはなりたくはない、いや、なってほしくないものです。

大和中学校の上級生・最上級生として模範を後輩に示してほしいと思います。また、大和中生としての心意気を伝統という「形」にしていくことを期待しています。

中国の「書経」という本に「習い性となる」という言葉があります。簡単に言うと「習い」、つまりは、習慣になったことは、その人の性質となるということです。学校で言えば「伝統」になるということです。「あいさつをしっかりとる」「校歌を大きな声で歌う」など、大和中の「性」となり、伝統のある素晴らしい学校に築き上げていって欲しいと願

っています。特に新三年生には大いに期待をしています。

また、中国の清の時代に編まれた「通俗編」に「一步は一步より高し」という言葉があります。この言葉は、人の努力による成長を、登山にたとえた言葉です。昨日の一步より今日の一步、今日の一步より明日の一步。つまりは、努力を少しずつ積み重ねることで、目標や願いを叶えることができるということを教えてくれる言葉です。

「一步は一步より高し」を心に置きとめて自分磨きをしてほしいと切に願い、きっと、皆さんならば、自分のために、大和中学校の新たなスタートのために大いに活躍してくれること期待し、修了式の式辞といたします。

第12回卒業式

3月8日（金）、第12回卒業式が挙行されました。校長先生から161名全員に卒業証書が手渡され、9年間の義務教育を終えた生徒達は晴れやかな表情で巣立っていきました。

証書授与の際の呼名に対する返事や整然とした立ち座りなどの行動、国歌や校歌も1・2年生と共に高らかに歌い上げ、最後の卒業記念合唱も感動的でした。たくさんの保護者や来賓の方々からもお褒めのことばを多くいただきました。

これからは、大和中同窓生、そして大和町民としてそれぞれの進路先で活躍してくれることと思います。



ご家庭での見守りのお願い

3月から4月にかけて多くの生徒にとって、新たな学年での学校生活に夢や希望を持つと同時に不安や悩みを抱える時期でもあります。ご家庭におかれましても、お子様の状況をいつもより注意深く見守っていただくようお願いいたします。

心配な事がありましたら、学校または県の「児童生徒の心のサポート班(0224-53-3111 内線563)」, 文科省の「24時間子供SOSダイヤル(0120-0-78310)」へご相談ください。

学年末学年始の主な行事予定(詳しくは各学年の「春休みのしおり」をごらんください)

3月

25日(月) 新入生1日入学

28日(木) 離任式(昇降口を通過して、8:20
までに体育館へ登校)

4月

8日(月) 披露式、始業式【弁当】

9日(火) 入学式【弁当】

11日(木) 副教材販売(現金引換)

13日(土) 授業参観、PTA総会【弁当】

保護者の皆さまには、この一年間大和中学校へのご理解とご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

